

# 節電に取り組もう！

7月～9月は電力需要の最も多い期間です。

みなさん一人ひとりの節電アクションが確実に大きな動きとなり、電力消費をおさえることができます。みんなで協力して暑い夏をエコな生活で乗り切りましょう！

## 市も率先して節電に取り組めます

東日本大震災後、私たちが住む東京電力管内ではきびしい電力不足が続いています。政府は、電力不足対策として、企業や一般家庭に対し、日中の最大使用電力を15%削減する目標を設定しました。これは、電力需要のピークとなる7月～9月の平日、午前9時～午後8時の時間帯での使用電力の15%削減を呼びかけるものです。

行方市においても『節電行動計画』を策定し、電力需要の削減に取り組んでいます。具体的にはグリーンカーテン、よしず等により室温の上昇を緩和

効果項目	効果目標値	備考
照明の間引	4.5%	
水・金一斉退庁	5.0%	夜間の時間外勤務を行わないことにより、照明、エアコン、パソコン等の使用制限によるもの（状況により拡大）
事務機器の節電	3.0%	
空調設備の節電	5.5%	グリーンカーテン、よしず、使用時間の節約
その他	0.3%	電気ポット、トイレ等の節電
合計	18.3%	

し、事務室では徹底した節電を行います。また、水曜日、金曜日を一斉退庁とするなどし、昨年同時期の電力使用量の15%削減を目指します。厳しい電力供給状況に対応するため、ご不便をおかけしますが、みなさまのご理解とご協力をよろしくお願いします。



## 家庭でもできることから節電を

情報化社会の進展や高齢化の進行によって、家庭の電力消費は近年増加を続けてきました。家庭での電力消費量

## 夏を涼しく過ごすひと工夫

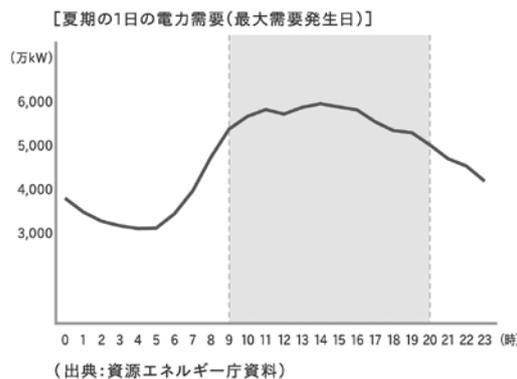
- **緑のカーテンを育てる**  
ゴーヤや朝顔などの「つる植物」を植えると暑くなる時期に生長して日陰を作ってくれます。
- **すだれで日陰をつくる**  
窓の外側に設置する、すだれ、よしずは、室外で日射を遮り、室内への熱の侵入を防ぐため効果的です。
- **打ち水をする**  
朝や夕方にバルコニーや庭などに打ち水をする、水が乾くまでの

- **同じ部屋で過ごす**  
間、気化熱の効果によって溜まった熱を逃してくれれます。
- **衣服を工夫する**  
同時に使用するエアコン・照明を減らすことができ、消費電力の大幅な削減につながります。
- **寝具を工夫する**  
通気性のよい素材などを選ぶことで快適に過ごすことができます。
- **寝具を工夫する**  
い草や麻などの素材を選ぶと寝苦しさや和らぎます。

# 夏の節電のポイント

消費電力の大きい電気製品（温水洗浄便座、電気ポット、食器洗い乾燥機、オーブントースター、掃除機、ドライヤー、洗濯乾燥機、浴室乾燥機、ジャー炊飯器、電子レンジ、アイロン、IHクッキングヒーター等）は平日の日中を避けて使いましょう。

## ●夏の節電は平日の9時～20時を中心に



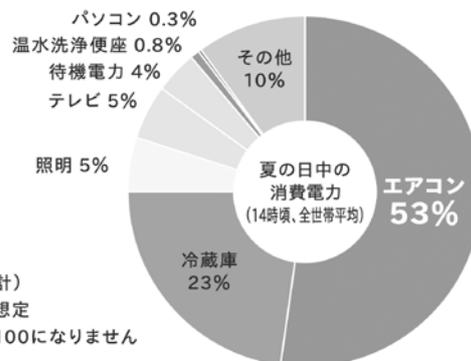
電気の使われ方は、季節、気温、昼夜によって大きく変わります。特に7月～9月の平日は冷房による電力消費が増大し、1日の中では14時頃が電力需要全体のピークとなります。なお、平日の9時～20時の間は電力需要が高い時間が続きますので、節電へのご協力をお願いいたします。

## ●エアコンが節電の大きなポイント

ピーク時間の電力消費の内訳はエアコンが約1/2を占めています。エアコンの使い方が夏の節電の大きなポイントとなります。



(出典:資源エネルギー庁推計)  
※数値は最大需要発生日を想定  
※端数処理の関係で合計は100になりません



○室温は28℃を心がけましょう。  
○あだれやよしずなどで窓からの日差しを和らげましょう。  
○無理のない範囲でエアコンを消して扇風機を使いましょう。※除湿運転やエアコンの頻繁なオンオフは電力消費の増加に役立ちます。

## ●冷蔵庫



○設定温度の再確認をしましょう。「強」の場合は「中」へ変更  
○詰め込みすぎに注意しましょう。  
○扉の開け閉めは、短く、少なく。開閉の時間や回数を減らすようにしましょう。

## ●照明 その他電気製品



○照明はこまめに消灯しましょう。  
○待機電力を減らすことも節電のポイント（リモコンの電源ではなく、本体の主電源を切る、長時間使用しない機器についてはコンセントからプラグを抜くようにしましょう）

◎エアコンの控え過ぎによる熱中症などに注意して、無理のない範囲で節電しましょう。